

公共調達監視委員会議事内容

令和元年 7 月 24 日

1 審議案件説明

事務局から、審議案件について、契約件名、契約相手方、契約概要、競争参加資格、参加者数、入札経緯及び結果等の説明を行った。

2 審議内容

【一般競争入札分】

委員) 入札参加資格の指定について、予定価格別の参加資格「B」については、直近の上位及び下位の等級又は、2級下位の「C、D」を、予定価格別の参加資格「C」については、直近の上位及び下位の等級又は、2級上位の「A、B」を指定できるとある。

No.17 は、予定価格別の参加資格「B」で、下位の 2 等級の「C、D」を、No.20 は、予定価格別の参加資格「C」で、上位の 2 等級「A、B」としている理由はなぜか。

事務局) 今まで入札に参加しているところが入れるよう配慮し、決定したためである。

委員) No.19 について、謝金や人件費がかかるのに、低入札となっているのが気になるが。

事務局) この事業所は、前年度も実施し、事業内容も分かっているため、この価格での入札となっている。

実施可能かどうかは、実施計画書を確認し、可能であると判断した。

委員) 前年度の契約金額は、今年度の予定価格と同じくらいか。

事務局) 前年度とは、事業内容が異なっているため違っている。

毎年同じ事業名でも、内容は若干変わってくる。

どれだけ事業にかかるかということを中心に本省が予算を作り、ある程度決まった予算額をもらい、当局で精査して予定価格を作っているため、前の年との比較だけでは決められないところもある。

【随意契約分】

委員) No.26・32 について、賃貸借契約で場所的な関係から代替性・競争性がないため、随意契約とするのは理解できる。

昨年も同様に契約していることから金額が変わらないと思われるが、予定価格より多少低い金額で契約になっているのはなぜか。予定価格自体を前年度より上げているのか。

事務局) 近隣の土地等の相場を含めて予定価格を算出しているためである。

委員) No.36 について、平成 29 年度が 14,447,000 円、平成 30 年度が 14,290,000 円で若干下が

っているが、今年度は14,787,000円で、50万円近く上がっている理由はなにか。

事務局) 委託事業となるので、事業内容が毎年若干違っているためである。

委員) No.34とNo.38の予定価格が平成29年、30年度に比べ、すごく上がっているが、今年度の事業内容が違うからなのか。

事務局) そのとおりである。

No.34～37は、同じ事業名の契約であるが、実施項目がそれぞれ異なっており、それによって金額も異なっている。

委員) No.34～37は同じ事業だが、実施要領における委託先の要件が香川県知事の推薦があった団体となっているが、地域的に推薦されているのは1つの業者しかないのか。

事務局) 中讃・西讃・東讃・高松で各1社となっている。

委員) No.38について、委託業者が指定されているが、予定価格を上回った金額を言ってきたらどうするのか。

事務局) 金額を超えてきたら、交渉することとなる。

委員) 予定価格が平成29年、30年度から急に上がっている理由はなにか。

事務局) 今年度から事業内容が拡充されていることが影響しているためである。